みんなつよい子　ダメな子なんてひとりもいないんだ

ライオンの子保育園

愛されるきもち　素直な瞳　ライオンの子

こんにちは。園長の末広です。園長がときどきお届けするこのお便り、読んで頂けてますか。保護者のみなさんの日々のささやかな休息になればと、想いを込めて書いています。

そして、新しい年を迎え、ライオンの子保育園では、1年間の集大成として「ライオンの子発表会」がくる3月2日にやってきます。運動会と同じように、あたたかい大切なものを忘れずに、園児それぞれが1番輝ける工夫を考え続けています。本番、できる、できないではなく、本番に向かってみんなで取り組んだことそのものが、とっても大切なことなんですよね。緊張の中でどんな成長を魅せてくれるかとっても楽しみです。保護者のみなさんにたくさん我が子を褒めてもらえるように会場も表情と声が近くで感じれるように工夫しますので、どうぞおじいちゃんおばあちゃん、家族ご兄弟みんなで応援してあげてくださいね。

さて、今日は最近ぐんぐん成長を感じます「りす組」さん1歳さんクラスにスポットを当てお伝えしたいと思います。りす組さんは、ひさえ先生、ようこ先生。まぁ先生が担任を受け持つ、園の中でもっとも数が多いクラスです。入園間もない頃は泣きじゃくって、先生のエプロンを後ろからつかんで離さなかった子たちも、今ではほとんどが2歳の誕生日を迎え、おしゃべりだって、一人前気分で対等に話しかけてくる姿は、胸をキュンとさせてくれます。好き嫌いだって最初はたくさんありました。でもいつの間にか食べれるようになってるんですよね。

園長先生が贈るお便り。日々の育児のささやかな参考になれば…。

園長先生の森

給食前に行われる「絵本のよみきかせ」などの工夫で、給食を自分の席で「待つ」こともできるようになりました。実はこれはとっても素晴らしいことなんです。

「待つ」という作業は、大人である私達にとっても、とてもむずかしいことですよね。2歳の園児達が、給食の準備の気配を感じながら、いいにおいにおなかをすかせつつも、しっかりと自分の席で先生のお話を聞きながら「待つ」ことができているんです。本当に、すごい！と私は園児達を心から褒め、いつも大切に見守っています。

ひさえ先生を中心に、たくさんのアイデアがりす組さんに反映されていて、チョコチョコ可愛いだけじゃないりす組さんの顔を最近では見る事が増えてきました。トイレトレーニングもそうですし、服の着脱だって自分でできるようになりました。そうした身の周りの自分のことを少しづつ、自分で理解し、少しづつ自分でやりたがる自我が発達してくるのもこの時期の面白さですよね。

ちょうどこの時期は、抱っこしても重さを感じてくる時期です。今まで、すぐに抱っこをして安心させていた行動パターンが、今度は体重の成長、重さによってなかなかそうはいかなくなってくる時期。ご家庭によって方針は様々ですがこの時期のこの成長期は、抱っこして目線を合わせるのはなく、親自らが腰を落とし目線を合わせて語りかけてみる習慣を心がけてみてほしいと思います。

ライオンの子保育園には現在、たくさんの入園待ちの方々が毎日見学に訪れます。今現在キャンセル待ちがものすごい数になっています。

今の時代、豊かさの一方では希望するすべての人たちが必ずしも希望する教育を受けれない時代の背景も存在します。

親として「こんな子に育ってほしい」という我が子を思う想いをいつも持ち続け、語りかけ、共に喜んだり、共にくやしさや悲しさを感じ、いつでも1番の味方でいてください。

「生まれてきてくれてありがとうね」その気持ちをいつも伝えましょう。

私たちライオンの子保育園は、ご家庭それぞれの育児方針を越えることはできません。また、越えてはいけないとも思っています。すべての原点は家庭です。幼児期に培った「いつでも戻れるあたたかい場所」それが我が子の一生の強さになって、道を切り拓いていけると私は信じています。

単に「良い子」ではなく、個性溢れる自由な発想と、あそびが大好きでたくさんの周りの人たちに愛される子どもに育ってほしいと私は心から願っています。「ライオンの子発表会」楽しみにしててくださいね！

25.2.14 発行VOL.5

ライオンの子保育園の保育目標

私たちは

1. 愛するこころ
2. あきらめないこころ
3. 感謝するこころ

を育てます。

＊園長：末広
ライオンの子保育園　園長
沖縄幼児教育研究会　会長

＊園長先生と育児、教育相談、なーんでもOK! 面談希望は随時受け付けています。（予約制）希望者は担任、または事務室まで！